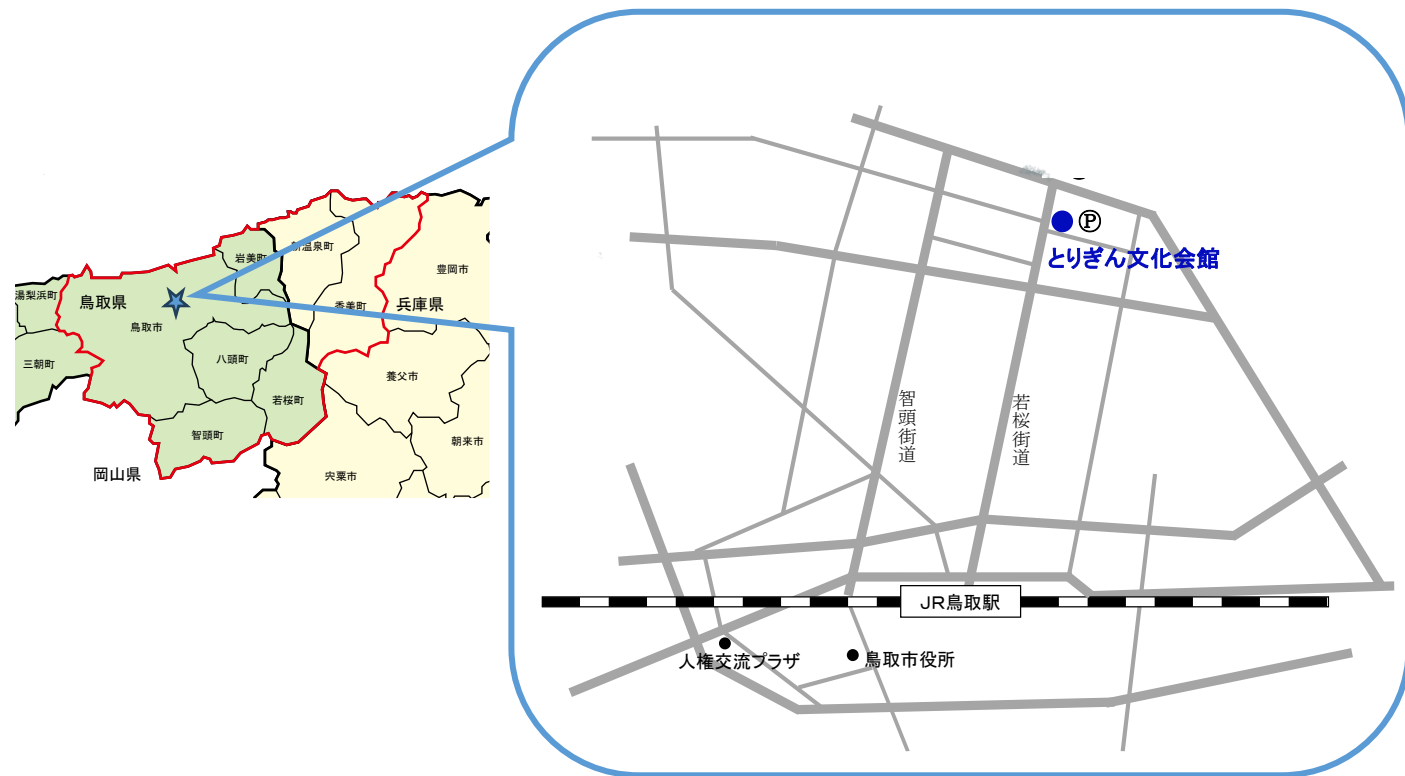


☆会場へのアクセスについて

会場周辺は、駐車スペースに限りがあります。公共交通機関の利用、乗り合せ等で車の台数削減にご協力いただきますようお願いします。



【問合せ先】鳥取市人権教育協議会 事務局

〒680-8571 鳥取市幸町71 鳥取市役所本庁舎4階（人権推進課内）
TEL 0857-30-8071 FAX 0857-20-3945 eメール jinken@city.tottori.lg.jp

- 主催 鳥取市人権教育協議会
- 共催 鳥取市
- 後援 鳥取市教育委員会 鳥取県 鳥取県教育委員会 岩美町 岩美町教育委員会 若桜町 若桜町教育委員会 智頭町 智頭町教育委員会 八頭町 八頭町教育委員会 香美町 香美町教育委員会 新温泉町 新温泉町教育委員会 朝日新聞鳥取総局 毎日新聞鳥取支局 読売新聞鳥取支局 産経新聞社 山陰中央新報社 新日本海新聞社 中国新聞社 NHK鳥取放送局 BSS山陰放送 日本海テレビ TSKさんいん中央テレビ テレビ朝日鳥取支局 日本海ケーブルネットワーク いなばぴょんぴょんネット エフエム山陰 FM鳥取・RADIOBIRD（公社）鳥取県人権文化センター（順不同）

第52回人権尊重社会を実現する鳥取市民集会

誰もが自分らしく、暮らすことのできる

地域共生のまちづくり

～麒麟のまち圏域でさらに人権尊重の輪を広げよう～

同和問題（部落差別）をはじめとするあらゆる人権課題の解決をめざして研修を深め、実践と交流の輪を広げることを目的に開催します。ぜひご参加ください。

と き：2026（令和8）年10月7日（水）
10：00～15：00（受付9：30）

ところ：とりぎん文化会館
（鳥取市尚徳町101-5 TEL 0857-21-8700）

参加
無料

【全体会】 講演会 10：30～12：00 ※手話・字幕表示（AI翻訳）あり

演題 「バリアバリュー 障害を価値に変える」

講師 かきうち としや 垣内 俊哉 さん（株式会社ミライロ 代表）



【プロフィール】
1989年愛知県安城市に生まれ、岐阜県中津川で育つ。生まれつき骨がもろく折れやすいため、幼少期から車いすで生活を送る自身の経験に基づくビジネスプランを考案し、国内で13の賞を獲得。

2010年、障害を価値に変える「バリアバリュー」を理念とし、大学在学中に株式会社ミライロを設立。障害者や高齢者のサポート方法を学ぶ「ユニバーサルマナー検定」や、障害者手帳をデジタル化した「ミライロID」など、DEIの実現に向けた様々な事業を展開。

国内のみならず、海外でもインクルーシブな社会の実現に向けた取組に携わる。2024年には、パリパラリンピックの開会式にて、日本選手団の先導役を務める。2025年3月24日、東京証券取引所グロース市場に上場。テレビ東京「News モーニングサテライト」、「ガイアの夜明け」、NHK総合「おはよう日本」などメディアへも多数出演。

【実現したい未来】

社会には多様な人々が生活し、障害者や高齢者・LGBTQ+・外国人など、移動や生活に不安を感じている人が存在します。それらの人々は、社会に存在する「環境・意識・情報」の3つのバリアを感じています。これらの3つのバリアは、相互に関連している部分があります。ひとつのバリアの解消だけでなく、多面的に解決のアプローチを行うことが可能です。そのため、従来解決が難しかったバリアの解消や、より効果的な解決策を導くことも可能です。たとえば、高齢者は加齢に伴って様々な身体的不自由が増えて、視力・聴力・筋力などの低下が同時に進行します。つまり、高齢者の潜在的ニーズは、障害者のニーズを統合した状態にあります。障害者や高齢者にとって外出や消費、サービスを利用しやすくすることは、すべての人が暮らしやすい社会の実現につながります。

☆ 分科会の概要		
分科会		分科会の講師 など
1	子どもの人権	不登校は、決して「特別なこと」ではありません。私たちの「あたりまえ」を問い直し、社会全体で子どもたちの安心で きる居場所について考えます。 【講演】 演題：大人の本気と子どもの本音 講師：狩野 司 さん （鳥取市教育委員会事務局 次長（兼） 鳥取市教育総合センター 所長）
		不登校は、どの子にも起こりうるものです。学校に行かない ことで自尊感情が下がったり、周囲の無理解から傷ついたり することもあります。不登校に対する理解を深め、学校復 帰が唯一のゴールではなく、多様性を尊重し、子どもたち が安心して学び、社会的に自立していく力を育むため の支援のあり方について学びます。
2	男女共同参画	性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス） について理解し、一人ひとりが性別にかかわらず尊重され 能力や個性を十分に発揮できる社会について考えます。 【映画・グループディスカッション】 演題：アン・ダッグ氏の挑戦から学ぶ男女共同参画 ～だれもが活躍できる社会をめざして～ 講師：ケイツ キップ さん （タイム（とっとり国際交流連絡会）副会長） ケイツ 佳寿子 さん （タイム（とっとり国際交流連絡会）会長）
		幼い頃にキリンに魅せられたアン・ダッグは、アフリカへ渡り、 世界で初めて野生のキリンを研究した科学者となりました。 しかし、カナダ帰国後は女性研究者への偏見や差別に直 面し、研究者としての道は決して平坦ではありませんでし た。アン・ダッグの歩みを通して、男女共同参画の視点から 職場や地域社会における課題について学びます。
3	同和問題 （部落差別）	インターネット上に氾濫する部落差別と情報流通プラット フォーム対処法について考えます。 【講演】 演題：情プラ法施行後のインターネット上の部落差別 講師：松村 元樹 さん （（公財）反差別・人権研究所みえ常務 理事 兼 事務局長）
		インターネット上に氾濫する識別情報や被差別部落のアウ ティング動画など、インターネットの普及により部落に対す るデマや偏見、差別が拡大・悪質化しています。インターネッ ト上の誹謗中傷対策としての情報流通プラットフォーム対処 法について、部落差別解消の視点から学びます。
4	障がいのある人の 人権	様々な障がいの特性や障がいのある方への必要な配慮を 正しく理解し、障がいのある方も、ない方も一緒に暮らすこ とのできる、あたたかい地域社会について考えます。 平成28年から「障害者差別解消法」が施行されました。こ の法律は、誰もが障がいの有無によって分け隔てられるこ となく、お互いに人格と個性を尊重し合いながら暮らすこと ができる社会の実現を目的としています。鳥取県でスタート した「あいサポート運動」に関する理解を深めながら、障 がいのある方が困っていることを知り、合理的配慮の実践 についてグループ交流形式による研修を通じて学びます。
		【講演・グループワーク】 演題：「あいサポート運動」で創る「支え愛」の社会 グループワーク全体進行：鳥取県障がい福祉課
5	地域における 人権の取組	地域社会における人権教育・啓発をどのように進めるべき かについて考えます。 【実践報告】 報告者：芥島 寿美 さん （賀露地区人権啓発推進協議会 会長） 報告者：小谷 喜典 さん （佐治地区人権・同和教育推進協議会 会長） 【研究討議】 助言者：山根 聡 さん （鳥取県教育委員会事務局人権教育課 係長） 助言者：佐藤 淳子 さん （鳥取県人権教育アドバイザー）
		各地区同和教育推進協議会等における、様々な人権問題 に対する取組と課題について、研究討議を行うことで、私 たちが生活している地域社会で、一人ひとりが人権につい て考え、学習していく機会をどう築き、どう啓発していくか について学びます。
6	企業における 人権	企業における人権問題の取組について考えます。 【講演】 演題：同和問題（部落差別）の過去と現在と 解決への展望～企業の皆さんに期待するもの～ 講師：馬場 周一郎 さん （元西日本新聞記者・（公財）人権教育啓発 推進センター 特任講師）
		長らくマスコミ業界に所属されていたジャーナリストの視点 で同和問題（部落差別）について語っていただきます。 同和問題（部落差別）について、企業としての取組について 学びます。
7	特別分科会 （大学生と 考える人権）	若者とともに人権について考えます。 【発表】 演題：カードゲームで身近に感じる社会問題 発表者：大平 雅治 さん 吉田 千紗姫 さん （鳥取大学 地域学部） 演題：アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）を なくすためにできること 発表者：谷村 亮哉 さん （鳥取短期大学 地域コミュニケーション学科） 全体進行：鳥取県人権文化センター
		地域での啓発活動や学びの場において、若い世代と語る ことはそれほど多くないかもしれません。今回、2組の大学 生が、自分たちの取り組んでいること、また、ふだん疑問に 思っていること等について発表します。世代を超えて人権 の大切さについて学びます。

☆ 日程・会場等

時間	テ ー マ 等			会 場 名	会場収容人数
9:30～	受付				
10:00～ 12:10	全体会 ※手話通訳・ 字幕表示 (AI翻訳) あり	10:00～10:30	開会行事	梨花ホール	1610人
		10:30～12:00	講 演		
		12:00～12:10	諸連絡		
12:10～ 13:00	昼食・移動				
13:00～ 15:00	※関 心 の あ る テ ー マ の 分 科 会 に ご 参 加 く だ さ い。 分 科 会 (要 申 込)	1	子どもの人権	第4会議室	63人
		2	男女共同参画	第1会議室	199人
		3	同和問題(部落差別)	第2会議室	108人
		4	障がいのある人の人権	イベントホール	100人
		5	地域における人権の取組	小ホール	452人
		6	企業における人権	梨花ホール(1階席のみ)	500人
		7	特別分科会 (大学生と考える人権)	リハーサル室	60人

【手話通訳・字幕表示（AI翻訳）について】
全体会では、手話通訳・字幕表示（AI翻訳）を実施します。
※ 表示される字幕は、発言をAI音声認識システムで変換しているため、完全に正確なものではなく
一部誤変換する場合がありますのでご了承ください。

☆ 分科会への事前申込みについて

分科会によっては定員があるため、参加は事前申込制（全体会は事前申込不要）としております。お名
前、参加を希望される分科会の番号を**9月17日（木）**までに、裏面問合せ先へファックス、メール等でお
申し込みください。その際、託児・手話通訳・字幕表示が必要な方は、その旨ご連絡ください。

第52回人権尊重社会を実現する鳥取市民集会分科会 参加申込書

氏 名	分科会の番号 （右記参照）	①子どもの人権 ②男女共同参画 ③同和問題（部落差別） ④障がいのある人の人権 ⑤地域における人権の取組 ⑥企業における人権 ⑦特別分科会（大学生と考える人権）

託児 ・ 手話通訳 ・ 字幕表示 を希望します。（必要なものに○をつけてください）

連絡先	TEL	FAX
	eメール	